



優秀演題選考委員

氏名	所属	区分
委員長 稲吉 美由紀	国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 薬剤部	1. 医療機関に所属するCRC又は 治験事務局の経験が豊富な者
吉岡 まみ	東京都健康長寿医療センター 健康長寿イノベーションセンター 研究開発ユニット	1. 医療機関に所属するCRC又は 治験事務局の経験が豊富な者
山崎 純子	神戸大学医学部附属病院 臨床研究推進センター	1. 医療機関に所属するCRC又は 治験事務局の経験が豊富な者
新井 清和	株式会社EP総合 千葉支店	2. SMOに所属するCRC又は治験 事務局の経験が豊富な者
山田 周子	ノバルティスファーマ株式会社 グローバル医薬品開発本部 トライアルモニタリング 開発推進 治験第3	3. 製薬企業もしくは医療機器企 業に所属し、モニター等の経験が 豊富な者
森 泰治	元株式会社メドファーマ 臨床開発部	4. CROに所属し、モニター等の 経験が豊富な者
鈴木 義彦	前帝京大学薬学部実務薬学研究室教授	5. 上記以外の治験に関わる者 (医師、IRB委員、報道関係者等)





優秀演題選考結果概要

- 昨年度に続き、e-ポスターによる発表
- スライド形式のe-ポスター
- 演題数：119演題
- 品質管理・品質マネジメント、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対応関連が多かった
- リモートSDV、e-Consentなど、遠隔で実施できる取り組みに関する報告も見られた。

優秀演題選考委員による厳正なる審査の結果、最優秀演題賞、優秀演題賞2演題、特別賞2演題を選出した。

テーマ分類	演題数
01 審査委員会（事務局業務を含む）	7
02 実施体制の整備	18
03 院内調整・チーム医療	7
04 CRC・CRA業務の工夫	16
05 被験者対応・保護	4
06 品質管理・品質マネジメント	17
07 モニタリング・監査・査察	7
08 治験/臨床試験調整事務局業務・プロジェクトマネジメント	3
09 教育・育成	13
10 治験・臨床研究の啓発活動	3
11 専門領域（がん、小児、精神、救急など）	2
13 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対応関連	13
14 研究への患者・市民参画（PPI：Patient and Public Involvement）	3
15 その他	6
合計	119



最優秀演題賞

演題番号
P-004

国立がん研究センター研究倫理審査委員会の
一括審査体制整備～一括審査依頼書の作成～

筆頭演者名

国立研究開発法人国立がん研究センター
研究支援センター 生命倫理部被験者保護室
大藤 弥生

《受賞理由》

指針の変更後、非常に速やかに問題点を抽出し検討しており、変化に対する反応の速さ、検討内容の精度の高さが際立っていた。臨床研究における新指針での運用は非常に有意義であり、事務局を担当している方々には大変参考になる演題である。





優秀演題賞

演題番号
P-103

新型コロナウイルス影響下での他院と連携した
「検査委受託契約」による治験継続

筆頭演者名

東京大学医科学研究所附属病院 TR・治験センター
蓑手 沙織



《受賞理由》

ご発表いただいたような事例は今後増えていく可能性があり、災害時など以外の場合においても、被験者やご家族の通院などの負担が大きい治験においても活用できる方法であり、ポスター構成もわかりやすく大変参考になる内容である



優秀演題賞

演題番号
P-116

浸水害発生を想定した直前対応も含めた
災害対応マニュアルの作成

筆頭演者名

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
臨床研究センター
天野 佳美

《受賞理由》

作成された災害対応マニュアルについて具体的な取り組み例も含めたいへんわかりやすくまとめられており、現実的な取り組みは多くの実施医療機関において参考に成り得る。





特別賞

演題番号
P-017

大阪臨床研究ネットワーク（OCR-net）を活用した
脳卒中領域の臨床研究支援

筆頭演者名

大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部
未来医療センター
岩本 穂珠美

《受賞理由》

最前線の事例を非常にわかりやすい形で発表されており、選考委員からポスターの見栄えが一番良かったと評価が高かった。とても理想的な取り組みで、どの施設も簡単に導入できるものではないが、近い将来、このような対応が当たり前になることを願う。





特別賞

演題番号
P-050

同意説明文書作成に関する実態調査 —ISEI-PJ—
～治験依頼者/医療機関各々のすれ違う思い。目指すは同意説明文書の標準化～

筆頭演者名 近畿大学病院 臨床研究センター
小林 和子

《受賞理由》

誰もが問題と感じているICFの問題点について、施設側だけでなく、依頼者、CROなどあらゆる立場のメンバーで構成されたチームで調査を実施したことは素晴らしい取り組みであると考えます。是非次の取り組みに繋げていただきたい。



第21回 CRCと臨床試験のあり方を考える会議in横浜



受賞おめでとうございます

